



## ♪ 美しき貴婦人の時代

戦後まもない頃、数人のフランス人女性がエステティックを生み出し、パリが美の中心となる画期的な時代を切り拓きました。「美しき貴婦人の時代」と呼ばれる女性たちのひとりが、マグドレーヌ・モンドロニ女史でした。

モンドロニ女史は、まだエステティックという職業がなかった1950年代に友人たちとフランス初のエステティック・コスメティックフランス連合(fédération française de l'esthétique cosmétique)を設立。エステティック技術と知識の体系化に取り組みました。

そして、教育の重要性と法的整備の必要性を訴え、1960年にはマルセイユに自らエステティック学校(Ecole d'Esthétique du Docteur LATOUR)を設立し、教育システムの確立を目指しました。



## ♪ エステティック国家試験制度創設に尽力

それまでマイナーな職業として捉えられていたエステティックという仕事ですが、モンドロニ女史は、フランス国民教育省とともに認定制度の創設に取り組みました。認定制度とは、認定試験の実施と合格者ヘディプロマを発給するというものでした。そして、1963年にエステティック・コスメティック分野のCAP制度が法制化されました。その時中心となって尽力したマグドレーヌ・モンドロニ女史の功績に、フランス中から注目が集まりました。

しかし、それはエステティック業界の「はじまり」にすぎませんでした。エステティック業界が成長し、1985年に上位資格BPが法制化されるまで20年以上の歳月が費やされたのです。それは、モンドロニ女史のエステティック・コスメティック資格の確立に奔走した日々でもありました。

マグドレーヌ・モンドロニ女史は、BP資格が法制化された1985年に、フランス国民教育省におけるプロジェクト委員会議長に就任。フランスのエステティック業界の第一人者として認知されました。退任後も、CAP、BP、BTSの国民教育におけるエステティック技術教育アドバイザーとして活躍されました。



## エステティック資格制度の国際標準化に献身



マグドレーヌ・モンドロニ女史は、フランス国内のエステティック資格制度の確立だけでなく、国際的なコミュニティにフランスの美容概念を取り入れるように働きかけました。ドイツ、ギリシャ、イタリア、スペイン、ポルトガル、カナダ、アメリカ合衆国、セネガル、日本、中国、ブラジル、モロッコ、アルジェリアなどでセミナーや美容の進化についてのワークショップを開催し、エステティック資格の国際標準化を目指したのです。

フランスの「美容大使」と呼ばれたモンドロニ女史は、1982年には国際エステティック連盟(INFA)の代表理事に就任。そして、自ら立ち上げたフランスの試験資格制度を国際標準にすべく、2000年に誕生したICAMの設立に貢献されました

## フランス国民名誉勲章シュバリエ騎士章を受勲



エステティック・コスメティック資格の国家試験制度化への貢献。その基盤となる教育システムの体系化など、マグドレーヌ・モンドロニ女史の美容業界への功績は計り知れません。そして、長年に渡る功績を称え、2009年にフランス国民名誉勲章シュバリエ騎士章を受勲されました。

マグドレーヌ・モンドロニ氏が、フランスの美容業界そのものを築き上げた第一人者であることに異を唱える人はいません。美容業界でモンドロニ女史が「エステティシャンのファーストレディ」と呼ばれる所以なのです。

そして、2009年にフランス国内の美容業界5連盟を総括するCNEP(Confédération Nationale de l'Esthétique Parfumerie)の名誉会長に就任されました。

2011年からICAMフランス本部会長を務めた後、2013年、ギレンヌ・ルボー氏を次期会長に指名し、ICAMフランス本部名誉会長となりました。



## ♪ 哀しみと悼みの時

2016年3月31日、ICAMフランス本部名誉会長マグドレーヌ・モンドロニ女史の「美容に捧げた生涯」は幕を閉じました。

CNEPでは、webサイトのトップページに訃報が掲載され、会長として演説された一部を「モンドロニ氏からの贈り物」として紹介しています。

The screenshot shows a black header with the name "Magdeleine Thénault Mondoloni". Below it is a portrait photo of her. The main content area has a dark background with white text. It starts with a message from friends, followed by a statement from Magdeleine Thénault Mondoloni herself. There are sections for "Retrouvez dans info pro les conférences des Assises 2016" and "Revue de presse". At the bottom, there's a link to "CODE Revue Formation avec Myline".

CNEPホームページ

The screenshot shows the homepage of PBE (Profession Bien-Etre). The top navigation bar includes links for "A LA UNE", "ACTU", "BEAUTE", "COSMETIQUES", "ETUDES", "SOINS", "HOTELS", "DISTRIB", "GUIDE", and "CONTACT". A banner at the top features a woman's face. The main content area has a blue header with the text "Décès de Magdeleine Thénault-Mondoloni, pionnière de l'esthétique à la française". Below this are several images of Magdeleine Thénault Mondoloni, and a sidebar with a "CODE Revue Formation avec Myline" section.

PBEホームページ

この訃報は、フランスの美容業界誌でも「フランスのエスティック先駆者の死」と題して取り上げられ、「マグドレーヌ・モンドロニ女史の歴史は、フランスのエスティックの歴史そのものである」として、今日の美容業界を築き上げた偉大な女性の功績と哀しみを伝えています。

## ♪ 夢の継承者として



ICAMは、マグドレーヌ・モンドロニ女史が築き上げたフランスの国家資格制度に準拠した教育カリキュラムと国際ライセンスを提供しています。また、パリ研修やセミナー、ICAM認定講師による特別授業などさまざまな学習機会を提供しています。2014年11月に実施されたパリ研修ではマグドレーヌ・モンドロニ女史の元気な姿を拝見することができました。

ICAM日本支部は、モンドロニ女史が描いたエスティック資格の国際標準化の夢と、その情熱を継承しながら、エスティシャンの社会的地位の向上およびエスティック業界の発展に寄与してまいります。

2016年、ICAM日本支部は日本エスティック試験センターの登録養成団体として加盟し、エスティックの国内資格の標準化に貢献していきます。その先に、国際標準資格を夢見て。

# 追悼の言葉



私にとって  
“マグドレーヌ”は  
「美」のイメージそのものです。

ICAM フランス本部会長  
ギレンヌ・ルボー

彼女は生涯を通して、女性たちに自身の美しさを気付かせることに尽力し、彼女が持つ知識を惜しまことなく与え続けました。美容の第一人者として、そして、同じひとりの女性として。

私たちとは、マグドレーヌがイザベル・ランクレイと共に美容連盟の副理事長を務めていた頃に知り合いました。その頃、私はビューティシャンとして働いており、彼女と美容という分野に何かプラスアルファをもたらすことはできないか、とよくミーティングを行っていました。マグドレーヌは素晴らしい聞き手でした。そして、貴重な価値を生み出すことへの貢献を望んでいました。彼女は国民教育省と共に活動し、1964年にエステティックで初のCAP試験実施を成し遂げたのです。

幾年もの歳月が過ぎても、彼女はいつも“アイデア”を持ち続けていました(たぶん一生涯)。彼女の溢れ出るアイデアの一つひとつに私は深く感銘を受け、私たちは最高のエステティックを目指す無二の友になったのです。

今、とても彼女に会いたい。私たちは、エステティックという素晴らしい仕事の未来のために、共に働き、長い年月を過ごしてきました。マグドレーヌとは、新しいプランを始めるための原動力となるバッテリを充電するためによく大声で笑ったものです。

マグドレーヌにたくさんのキスを！

マグドレーヌ・モンドロニは、  
素晴らしい女性でした。

前マルセル・ラミー校 校長  
ソフィ・クレメント

彼女は、そのパーソナリティと女性らしい上品さで、フランスで、世界中で、注目を集めます。彼女のことを忘れる事はないでしょう。

1960年代、彼女はマルセイユに最初の美容学校を設立し、多くのプロフェッショナルを育成しました。国民教育省と共に活動し、ディプロマ制度を作り、プロフェッショナルコースの必須としたのです。そして、国民教育省の認可が得られました。そして今や、ビューティシャンは、美容師やバン職人と同様に巨大なフランス産業の仲間入りを果たし、その評判は世界中に知れ渡るようになりました。

彼女は、フランス国内外を問わず、美容という職業を守り、改善し続けました。加えて彼女には、意思の強さと豊富な知識を伝達する高い能力がありました。彼女は、展示会や会議では偉大な話し手であり、また、陽気な文章スタイルで人々を魅了する偉大な文章家でもありました。彼女は、歴史の中に忘れられない記憶を残したのです。

エステティック教師として、プロを養成する美容学校の校長として過ごした25年間、私の個人的な、そして職業人としての人生に、マグドレーヌ・モンドロニはいつも寄り添ってくれる存在でした。彼女は、かけがえのない特別な友人でした。私は、生涯彼女を忘れる事はないでしょう。



コスメティシャンという職業を  
国に認めさせ、その育成方法を  
確立させた偉大な女性、  
マグドレーヌ・T・モンドロニ。

国民教育監察局 名誉試験官  
イザベル・カステノ

彼女についてお話をたくさんあります。私は、1987年にパリアカデミー・ビューティスクールの試験官に就任してからずっとミセス・モンドロニと共に働いてきました。まず最初に、フランスの国民教育省を代表して、逝去されたマグドレーヌ・T・モンドロニ女史への功績と敬意を表します。

私は、1987年にアカデミーでCAP試験の準備をされている頃、ミセス・モンドロニに初めてお会いしました。そして、フランス国民教育省が、彼女のプロフェッショナルな姿勢、知性、尊敬の念、やさしさ、威厳、能力を認め、信頼していることを知りました。程なくしてミセス・モンドロニは、パリアカデミー・ビューティスクールの技術部門のアドバイザーになりました。当時、彼女は度重なる出張や数えきれないほどの案件を抱えながらも、勤勉さと情熱をもってその使命を完遂しました。

彼女は、行政機関へ献身的に尽力しました。そして、その功績は今もなお多くの専門機関や私立・公立学校に残っています。専門家としての能力以外にも、彼女は人としての寛大さを持ち合わせていました。彼女の気品、普遍的なあふれる個性など、彼女はいつも真摯なメッセージを美容の世界に発信していました。彼女は時間を惜しまことなく、何年間もエステティックの国民教育に尽力してきました。彼女の努力は、輩出した卒業生からの感謝と評価によって報われ、認められたのです。私たちは、私たちに多くのものを与えてくれた女性を失ったのです。



親愛なる皆様、  
今日、私たちの名誉会長である  
マグドレーヌ・テノ・モンドロニ女史の  
訃報に接し、  
大きな悲しみに堪えません。

CNEP 会長  
レジーヌ・フェレール

多くの皆様と同じように私も彼女の傍で一緒にCNEPの創設に携わることができたことは大変幸運なことでした。

彼女が私たちにもたらしてくれたものを抜きに、彼女のことを語ることはできません。それは、学校の指導者であったり、化粧品や資材のブランドであったり、エステティシャンであったり、業界紙の友人であったり、とさまざまです。

素晴らしい知性と大きな教養、生きることや、お祭りや、旅や、友への尽きない愛、忘れる事のできない大きな高笑い、突拍子もない決定をする一方で同時に見せる限りない知恵、鋭い外交感覚、他の人が何を言うのか、他の人にどう聞こえるか、ということに対する研ぎ澄まされた感覚。なんという宝物を彼女は私たちに残してくれたのでしょうか。

6年間、私たちは一つの手の2本の指の様に強い絆で結ばれていました。私たちはすべての嵐と一緒に乗り越えてきました。そしてお互いへの無限の愛情を心に培ってきました。そのおかげで私たちは一丸となって、美容業界のために私たちの計画を実行することができたのです。

今夜、彼女は無言の人となってしまいましたが、彼女が残してくれた多くのことを、これからも大切にしていかなければなりません。